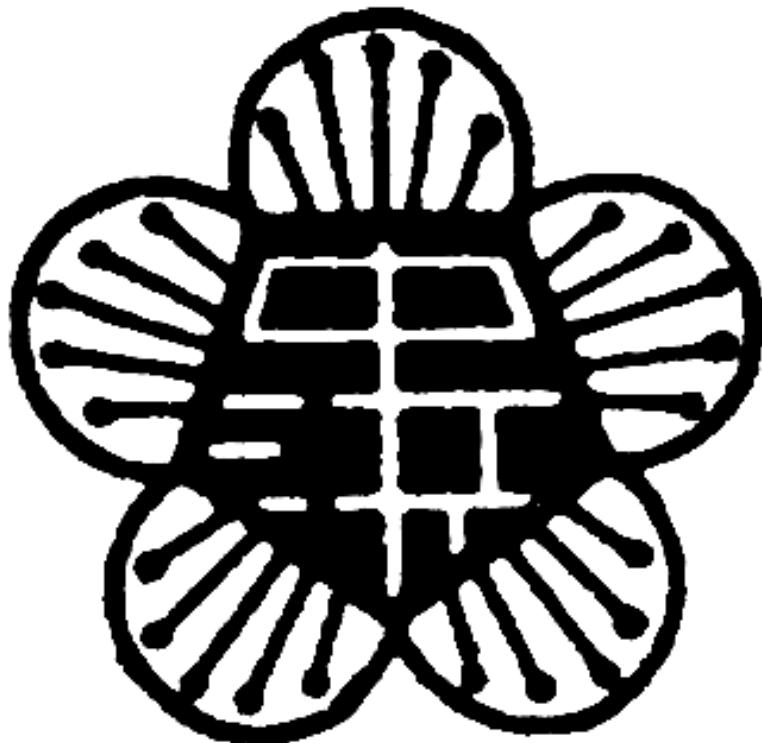


令和 7 年度
「運営に関する計画」
中間評価



大阪市立中浜小学校
令和7年 11月

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の在籍児童は175名で、1年27名、2年28名、3年29名、4年31名、5年24名、6年36名という小規模な学校である。児童一人一人が繋がりを持ち、学校生活を通してたてわり班活動や異学年交流を行っている。高学年はリーダーシップや責任感を示し、中・低学年はその姿を見て取り組むことで児童同士の学び合いが行われている。

令和6年度大阪市小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童の割合は96.4%(校内調査:99.46%)だった。ほぼ全ての学年で最も肯定的な回答をしている。昨年度心がけていた発達段階に応じた指導・支援を継続していく。

また、大阪市小学校学力経年調査における平均正答率の全国対比では、国語科ですべての学年が大阪市平均を上回った。昨年度、研究を進めてきた主体的・対話的で深い学びを推進し、充実した指導・支援、また取組が必要である。

教職員の時間外勤務の解消について、減少傾向は見られるが、基準1を満たす割合は86.67%、基準2を満たす割合は100%という結果となっている。今後も職場環境の充実を図り、全ての教職員が持続可能な業務に取り組む必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。
- ② 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- ③ 令和7年度の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ④ 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査における国語科の平均正答率を全ての学年で大阪市平均正答率を上回る。
- ⑤ 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を35%以上にする。
- ⑥ 令和7年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
- ⑦ 令和7年度の校内調査の「健康的な生活を送ることができている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑧ 令和7年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日数の75%以上にする(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)。
- ⑨ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を、令和7年度末に84.9%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、96.4%以上にする。
【R6:96.4%】
- ② 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95.5%以上にする。【R6:95.5%】
- ③ 今年度の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 98.2%以上にする。【R6:98.2%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

今年度の大阪市小学校学力経年調査における国語科の平均正答率を全ての学年で大阪市平均正答率を上回る。【令和 6 年度大阪市学力経年調査標準化得点(大阪市の平均を 100 としたとき)3年 101.5/4 年 101.3/5 年 104.2/6 年 102.8】

- ④ 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を、58.6%以上にする。【R6:58.6%】
- ⑤ 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。【R6:83.8%】
- ⑥ 今年度の校内調査の「健康的な生活を送ることができている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 92.8%以上にする。【R6:92.8%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ⑦ 今年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日数の 75%以上にする(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)。
【R6:100%】
- ⑧ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を、昨年度と同様に高水準にする。【R6:86.67 %】

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立中浜小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した C:取り組んだが目標を達成できなかった	B:目標どおりに達成した D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかつ
-------------------------------------------	---------------------------------------

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 96.4%以上 にする。 【R6:96.4%】</p> <p>② 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95.5%以上 にする。【R6:95.5%】</p> <p>③ 今年度の校内調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 98.2%以上 にする。【R6:98.2%】</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1、安心・安全な教育環境の充実】</p> <p>いじめ・いのちについて考える日を中心として、いじめは絶対にいけないという気持ちを育むと共に、自他のいのちの大切さを受容できるようにする。</p> <p>指標</p> <p>いじめ・いのちについて考える日を学期に1回設定し、いじめ・いのちについて考える機会とする。いじめアンケート、道徳科等でいじめやいのちに関する学習を必ず実施する。また、虐待防止についての学習(2年生と4年生で実施)や学校体罰アンケート(年2回実施)等も併せて実施する。</p>	A
<p>取組内容②【基本的な方向1、安心・安全な教育環境の充実】</p> <p>毎月スクリーニングシートを活用して児童理解を深めるための情報交換を実施し、児童一人一人の状況を把握したうえで、充実した支援・指導を進める。</p> <p>指標</p> <p>5・6・7・9・10・11・12・1・2・3月にスクリーニング会議(名称:児童理解研修)を実施し、児童の状況を把握できるようにする。その際は、児童に関わる全ての教職員が参加するとともにSSWやSCも参加(又は内容確認)できるようにする。</p>	A
<p>取組内容③【基本的な方向2、豊かな心の育成】</p> <p>たてわり班活動や異学年交流、学級のみんな遊びを通して仲間づくりを大切にし、充実した学校生活を送ることができるようとする。</p> <p>指標</p> <p>たてわり班活動や異学年交流をそれぞれ学期に1回以上設定し、多くの児童と交流する機会を設定する。また、学級活動やみんな遊びなどみんなで楽しむ活動を週1回程度実施する。</p>	A

取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】

学校行事のなかで、児童会活動や委員会活動、また学級の係活動などの特別活動を通して児童が活躍できる場面を設定する。

指標

1年間を通して、全ての児童が児童会活動や委員会活動、学級での係活動を通して人の役に立つことができる場面を設定する。また、必ず振り返りを実施し、一人一人の児童が人の役に立つことができたことを実感できるようにする(キャリアパスポートの活用を含む)。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① いじめについて考える日・いのちについて考える日を学期に1回設定していることで、児童の意識向上につながっている。いじめアンケートの実施により、児童間のトラブルの早期発見・早期対応につながっている。また、その他の取り組みにも計画通り実施できている。
- ② 児童理解研修を計画通り実施できている。課題のある児童について、教職員間で共通理解をした上で組織的な対応につながっている。
- ③ 中浜フレンドリーランドや毎週の集会等でたてわり班活動や異学年交流に積極的に取り組んでいる。また、異学年と一緒に学習を行うことに効果が感じられた。仲間を思いやることや人の役に立ちたいと思える機会になったのではないかと思う。
- ④ 児童会活動や委員会活動、学級での係活動を通して、個々の児童が自分の役割を意識して行動することができている。

改善点

- ・現在の取り組みを維持できるように努力する。

(様式2)

大阪市立中浜小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した

B:目標どおりに達成した

C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかつ

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>④ 今年度の大阪市小学校学力経年調査における国語科の平均正答率を全ての学年で 大阪市平均正答率を上回る。【令和6年度大阪市学力経年調査標準化得点(大阪市 の平均を100としたとき)3年101.5/4年101.3/5年104.2/6年102.8】</p> <p>⑤ 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしていることができている」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を58.6%以上にする。【R6:58.6%】</p> <p>⑥ 今年度の大阪市小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツ をすることは好きですか」の項目について、最も肯定的に回答する児童の割合を85% 以上にする。【R6:83.8%】</p> <p>⑦ 今年度の校内調査の「健康的な生活を送ることができている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を92.8%以上にする。【R6:92.8%】</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑤【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 全ての教員の指導力の向上を推進し、授業研究を中心とした校内研修を充実させる。</p>	B
<p>指標 全ての教員が1回以上、本校の研究を基にした研究授業・公開授業を実施する。</p>	B
<p>取組内容⑥【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 学習活動において、主体的・対話的で深い学びの学習を推進する。</p>	B
<p>指標 本校の研究主題を主体的・対話的で深い学びに据え、全ての教科で推進する。</p>	B
<p>取組内容⑦【基本的な方向5、健やかな体の育成】 児童が運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツに取り組む機会を充実させ、主体的に取り組むことができるようとする。</p>	B
<p>指標 年間2つ以上、児童が運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツに取り組むことができるような場面を設定する。また、本校の課題である「持久力」と「敏捷性」の向上をねらいとする取組を実施する。</p>	B

取組内容⑧【基本的な方向 5、健やかな体の育成】

健康教育や食育を充実させ、児童自身が健康に関心を持つことができるようとする。

指標

全ての学級で健康教育や食育を実施する。その際、健康教育は健康増進（歯科保健指導を含む）の指導や取組、食育はバランスの取れた食事に関する指導を各学年、学期に1回実施する。

A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ⑤ 計画通り研究授業、公開授業を実施している。研究授業の該当学年以外を下校とし、教職員が集中して研究授業に取り組むことができる環境を整えている。また、授業映像をもとに研修や主体的対話的で深い学びに関する校内研修会、自主研修会、ミライシードに関する研修会などを実施し、授業づくりについて話し合い、研究内容をより深めることができている。
- ⑥ 66.9%（校内調査）。教科を問わず、話し合いの機会を積極的に取り入れている。どの教員も学級の実態に応じた話し合い活動に継続的に取り組んでいる。児童は相槌をうつたり質問したりしながら話合いを行っている。委員会や児童会活動、クラブでは児童が主体的に話し合い、活動を工夫して取り組むことができている。
- ⑦ 76.5%（校内調査）。前期は暑さのため、学校全体で運動に取り組む機会を設けることが難しかったが、熱中症に気を付けながら水泳学習や講堂での運動を行った。集会委員会を中心に鬼ごっこのような外で運動あそびができた。後期は運動・健康委員会が中心となって、なわとび週間や耐寒スポーツタイム等を計画している。
- ⑧ 発育測定時の保健指導や、運動・健康委員会を中心に取り組んでいる健康週間、保健室前の毎月の掲示など、健康増進を意識した取組がたくさんあった。歯科検診の時間を活用し、歯に関する学習の機会もあった。また、栄養教諭による各学年の栄養指導だけではなく、給食の時間に各教室で行う栄養に関する学習の機会がたくさんあり、児童が食事に関する指導を受ける機会がたくさんあった。

改善点

- ⑤ 今後も継続して計画的に研究授業に取り組む。
- ⑥ 教科を問わず、話し合い活動を取り入れる。
- ⑦ 暑さのため前期は運動に取り組む機会を設けることが難しい。前期は運動会やスポーツテストの時期に持久力や敏捷性を向上させる運動に取り組むようにする必要がある。
- ⑧ 今後も継続して取り組む。

(様式2)

大阪市立中浜小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかつ

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>⑧ 今年度の授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業日数の 75%以上 にする(ただし、学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)。 【R6:100%】</p> <p>⑨ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を、昨年度と同様に高水準にする。 【R6:86.67%】</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑦【基本的な方向 6、教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末の活用を推進し、学習面で児童が主体的に活用できるようにする。</p> <p>指標 1日1回以上、学習の場面や家庭学習において学習者用端末を活用できるように設定する。(ベネッセコンテンツ・スタディサプリを含む)。</p>	B
<p>取組内容⑩【基本的な方向 7、教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末の活用を推進し、生活面で児童が主体的に活用できるようにする。</p> <p>指標 児童がこころの天気を毎日入力する。また、雨マークや雷マークが3日以上続いた時には、児童の生活面での状況を確認し、指導・支援を充実する。</p>	A
<p>取組内容⑪【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 会議を含む現職教育を精選し、全ての教職員が放課後の時間に余裕を持てるようにするとともに、教職員一人一人が予定を組みやすくなるように工夫する。</p> <p>指標 現職教育に関わる業務(行事等を含む)を精選する。また、ICTを活用したスケジュール管理を推進する。</p>	B

取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

教職員の平均時間外勤務を減少させ、持続可能な教育活動を推進する。

指標

B

ゆとりの日を週1回設定し、全ての教職員が定時退勤する。

今年度は全ての教職員の月総時間外勤務時間について 45 時間を上回らないようにする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【最重要目標3】

こころの天気も毎日活用しているし、今年度からベネッセコンテンツを導入し学習に取り入れたり、大阪市のタイピング大会にも参加を呼び掛けたりしている。学校全体で積極的に活用している。

- ① 活用はしているが、すべてのコンテンツを有効活用しきれていない。
- ② こころの天気の入力はできている。
- ③ 個人業務を持ってきている人は、放課後の時間を作れていない人もいる。
- ④ ゆとりの日に全員が定時退勤できていない。

改善点

- ②今後は児童がこころの天気の意味について理解し、活用できるようにしたい。